

各地区の津波浸水想定等の比較

地区名	想定地震	津波浸水想定	震度分布	液状化の可能性	備考
大阪北港	南海トラフ	地区東側は3～5mが大半 地区西側は1～3mが過半	震度6弱	PL値2.5以上が大半	
	東南海・南海	浸水なし	震度6弱及び震度5強	PL値0～1.0以下が過半	
堺泉北臨海	南海トラフ	堺地区は0.01～2mが過半 泉北地区は0.3～2mが大半	震度6弱	PL値2.5以上が過半	
	東南海・南海	堺地区は0～0.5mが大半 (一部0.5～1.5m) 泉北地区は0.5～1.5mが大半	震度6弱及び震度5強	PL値0～1.0以下が過半 泉北地区でPL値2.5以上の区域あり	
関西国際空港	南海トラフ	給油センター地区周辺等で0.01～1m	震度6強及び震度6弱	なし	
	東南海・南海	浸水なし	震度5強及び震度5弱	なしが大半	
岬	南海トラフ	護岸部周りで0.01～0.3m	震度6強	PL値1.5～2.0が過半	
	東南海・南海	浸水なし	震度5強及び震度5弱	PL値5～1.5が大半	

注) 上段：南海トラフ巨大地震による津波被害想定等（平成25年8月）、下段：東南海・南海地震による津波被害想定等（平成19年3月）